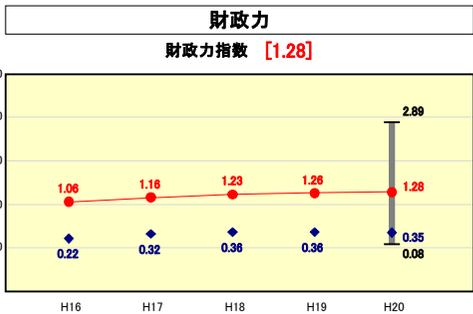
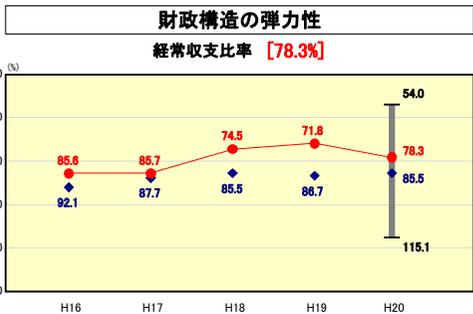


市町村財政比較分析表(平成20年度普通会計決算)

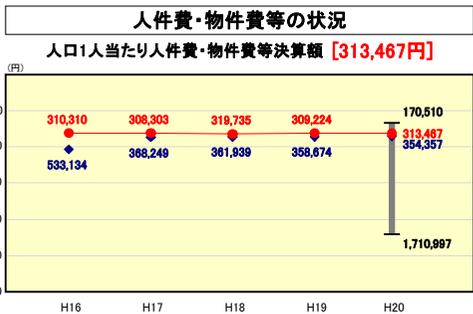


● 当該団体の値
◆ 類似団体内の平均値
┌ 類似団体内の最大値及び最小値

類似団体内順位 3/81
全国市町村平均 0.56
神奈川県市町村平均 1.08



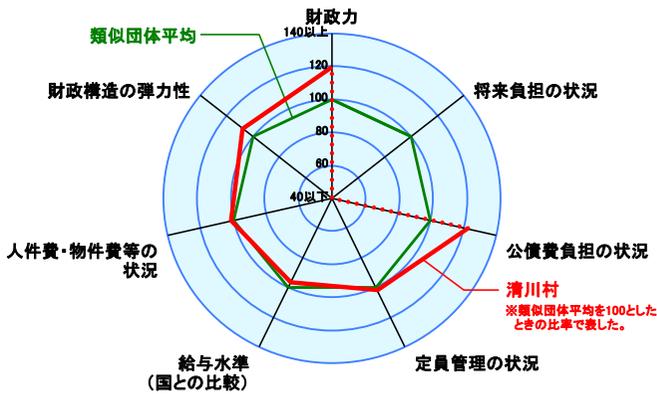
類似団体内順位 10/81
全国市町村平均 91.8
神奈川県市町村平均 83.1



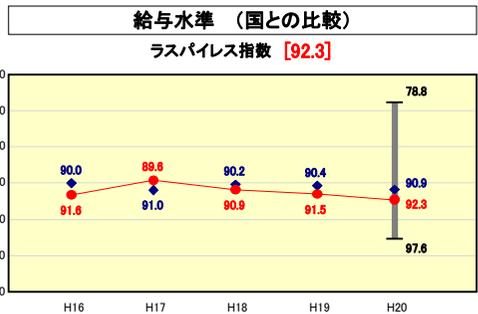
類似団体内順位 23/81
全国市町村平均 114,142
神奈川県市町村平均 101,867

※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

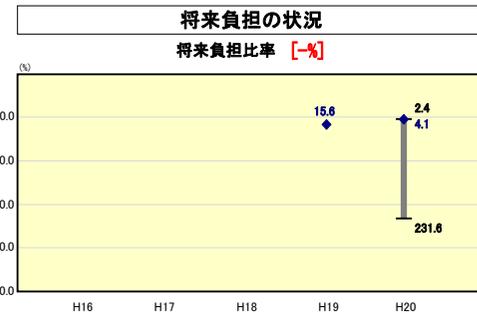
人面	口積	3,333	人(H21.3.31現在)
標準財政規模	71.29	k㎡	
歳入総額	1,655,805	千円	
歳出総額	2,724,508	千円	
実質収支	2,641,074	千円	
	83,205	千円	



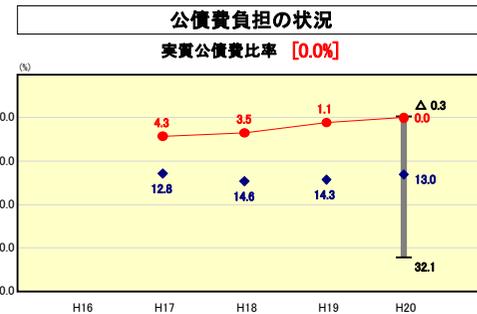
※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。
※平成21年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出してない団体については、グラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記せず、レーダーチャートを破線としている。



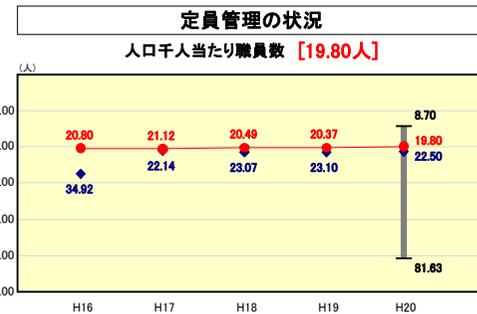
類似団体内順位 38/81
全国市町村平均 98.4
全国町村平均 94.6



類似団体内順位 ~/
全国市町村平均 100.9
神奈川県市町村平均 154.5



類似団体内順位 2/81
全国市町村平均 11.8
神奈川県市町村平均 13.7



類似団体内順位 19/81
全国市町村平均 7.46
神奈川県市町村平均 6.34

分析欄

【財政力指数】 宮ヶ瀬ダムに伴う国有資産等所在市町村交付金により、類似団体の平均を上回っており、平成16年度に1.0を超えてから5年連続で1.0以上の水準は維持しているが、20年度は前述の交付金が減少となったことなどにより、前年度比で0.039ポイント減となっている。今後も定員管理計画に基づいた適正な定員管理などに努め、歳出を削減し健全な財政運営に努める。

【経常収支比率】 歳出比較分析表を参照。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 前年度と比較すると3,119円上回っている。この要因は、人件費が若干減額し、物件費が前年度比増となったことによるもので、人件費については、職員構成が変わったことにより減少した。また、物件費については、平成20年度に学校備品等の整備を行ったことなどにより増加した。類似団体と比べて低くなっているのは、定員適正化計画に基づき専門分野における補充以外の採用を抑制しているためで、今後も定員適正化計画による適正な定員管理に努める。

【将来負担比率】 将来負担比率は、全国市町村平均、県市町村平均と比較しても高い健全度の水準に位置している。一部事業債が完了したことに加え、平成15年度以降に新たな起債をしていないことから、将来負担比率は低い水準を保っている。

【実質公債費比率】 類似団体と比較しても、全国市町村平均、県市町村平均と比較しても高い健全度の水準に位置している。これは、基金を効果的に活用することにより、起債の抑制に努めていることによるものである。

【人口千人当たり職員数】 類似団体と比較すると、2.7人下回っている。単に退職者補充を目的とした職員採用などは行わず、専門分野における補充以外の採用を抑制するなど、今後も適正な定員管理に努めていく。

【ラスパイレス指数】 類似団体平均より若干上回っているが、全国市町村平均との比較においては低い水準にあり、今後も給与の適正化に努めていく。